



2019年7月17日
パーソルキャリア株式会社

日本初、ハイクラス人材のキャリア戦略プラットフォーム「iX（アイエックス）」が
今どき 1,000 万円プレイヤーの「夏のイベント事情」を徹底調査

“BBQ（バーベキュー）”では「焼く派」が過半数！

小学生の頃の“夏休みの宿題”の取り組み方は、人それぞれ！

総合人材サービス、パーソルグループのパーソルキャリア株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：峯尾太郎）は、「キャリアに戦略を。」をキーワードに、ハイクラス人材のキャリアを考え、行動するための日本初のプラットフォーム「iX（アイエックス）」 < <https://ix-portal.jp/> > を2019年3月5日（火）よりサービス提供開始いたしました。

平成30年9月に国税庁が公表した「平成29年分 民間給与実態統計調査」によると、給与所得者全体の平均年収は432.2万円（男性531.5万円、女性287.0万円）となっており、ハイクラス人材を象徴する年収1,000万円以上の人はわずか6%程度という結果が出ています。「iX」では今後、このような希少価値の高い今どき1,000万円プレイヤーのさまざまな実態や特徴を、独自に調査しご紹介してまいります。

今回は、1,000万円プレイヤーの夏の過ごし方を探るべく、年収1,000万円～1,100万円未満のビジネスパーソン（以下、1,000万円プレイヤー）と、日本の平均的な年収層である年収400万円～500万円未満のビジネスパーソン（以下、平均年収層）を対象に、比較調査を実施いたしました。

【調査結果】

- ① **“BBQ”の際、1,000万円プレイヤーの男性は「焼く派」が過半数！**
一方で、平均年収層は「食べる派」が過半数！
- ② **“夏休みの旅行”は1,000万円プレイヤーの方が「暑いところへ行く派」が10ポイント多い！**
- ③ **小学生の頃の“夏休みの宿題”の取り組み方は、人それぞれ！**

■ **iX統括編集長 清水 宏昭（しみず ひろあき）からの総括コメント**

1,000万円プレイヤーの男性は“BBQ”の際、立場上、「食べる派」が多い印象ですが、「焼く派」が多いことがわかりました。マネジメント層の多い1,000万円プレイヤーにとって、部下が働きやすい環境を整えることは職務の一つです。職場での思考や行動が習慣となり、BBQでも「焼く派」に回ることで、皆が“BBQ”を楽しめる環境づくりをしているのかもしれませんが、一方で、小学生の頃の“夏休みの宿題”の取り組み方に関しては、1,000万円プレイヤーと平均年収層の間に明確な違いはありませんでした。先に宿題に取り組む子は、“課題にすぐに取り組む”というビジネスパーソンとしての重要な資質を備えているのではと予想していましたが、宿題の取り組み方と年収に関係があるとは言えなさそうです。

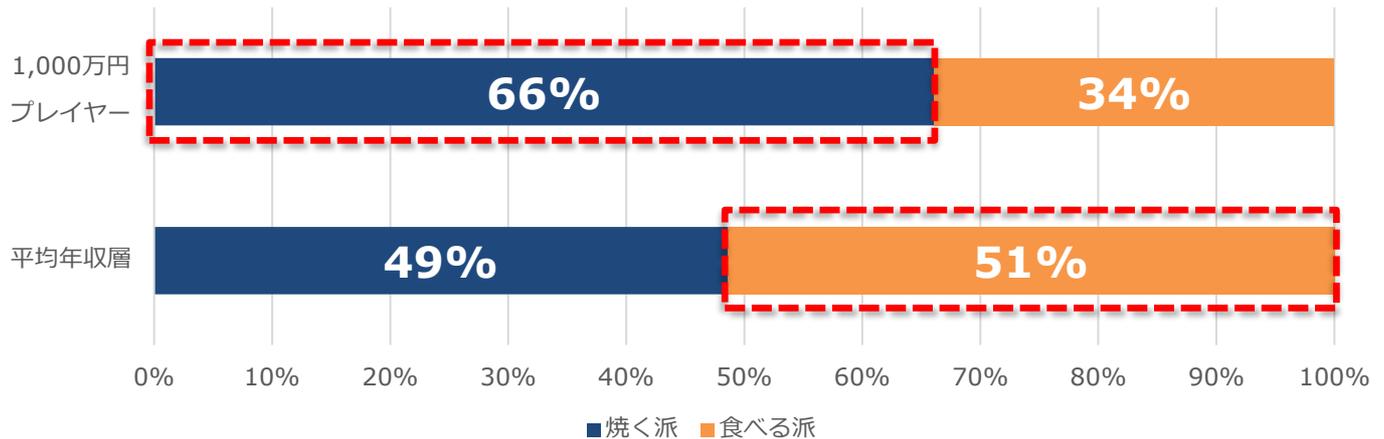


① “BBQ”の際、1,000万円プレイヤーの男性は「焼く派」が過半数！
 一方で、平均年収層は「食べる派」が過半数！

BBQをする際の役回りについて1,000万円プレイヤーと平均年収層の男性にそれぞれ調査をしたところ、1,000万円プレイヤーの男性のおよそ7割（66%）が「焼く派」と回答しました。一方で、平均年収層の過半数（51%）を占めたのは「食べる派」でした。BBQをする際の役回りについて、両者は異なる傾向であることが明らかになりました。

【グラフ①】 BBQをする際の役回りはどちらですか（男性のみ）

（全体N=460 1,000万円プレイヤーn=268、平均年収層n=192）

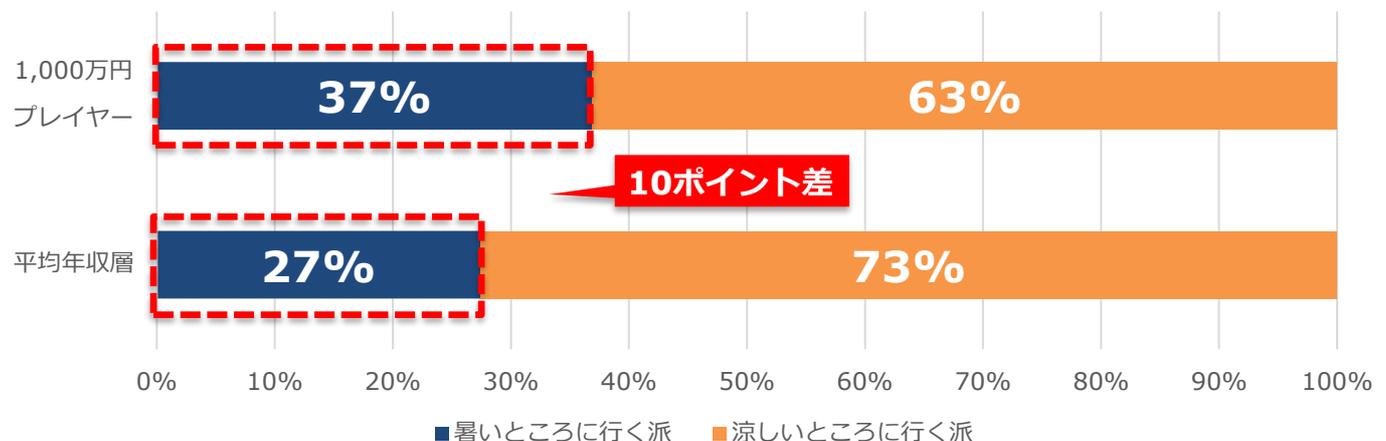


② “夏休みの旅行”は1,000万円プレイヤーの方が「暑いところへ行く派」が10ポイント多い！

夏休みの旅行先として行きたい所を調査した結果、1,000万円プレイヤー・平均年収層ともに、高原や山などの「涼しいところに行く派」が半数以上を占めました。ただし、1,000万円プレイヤーはおよそ4割（37%）がビーチなどの「暑いところに行く派」と回答しており、平均年収層（27%）と比べると10ポイント高い結果になりました。

【グラフ②】 夏休みに旅行に行くならどちら派ですか

（全体N=800、1,000万円プレイヤーn=400、平均年収層n=400）



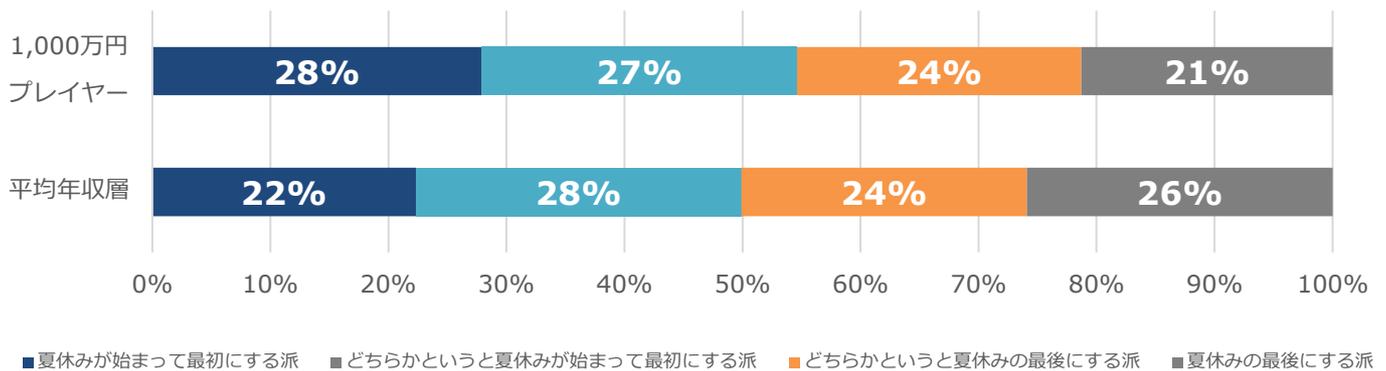
③ 小学生の頃の“夏休みの宿題”の取り組み方は、人それぞれ！

小学生の頃の“夏休みの宿題”の取り組み方について調査したところ、「夏休みが始まって最初にする派」「どちらか」というと夏休みが始まって最初にする派」「どちらか」というと夏休みの最後にする派」「夏休みの最後にする派」のいずれもが均等に分かれ、1,000万円プレイヤー・平均年収層ともに明確な違いがないことがわかりました。

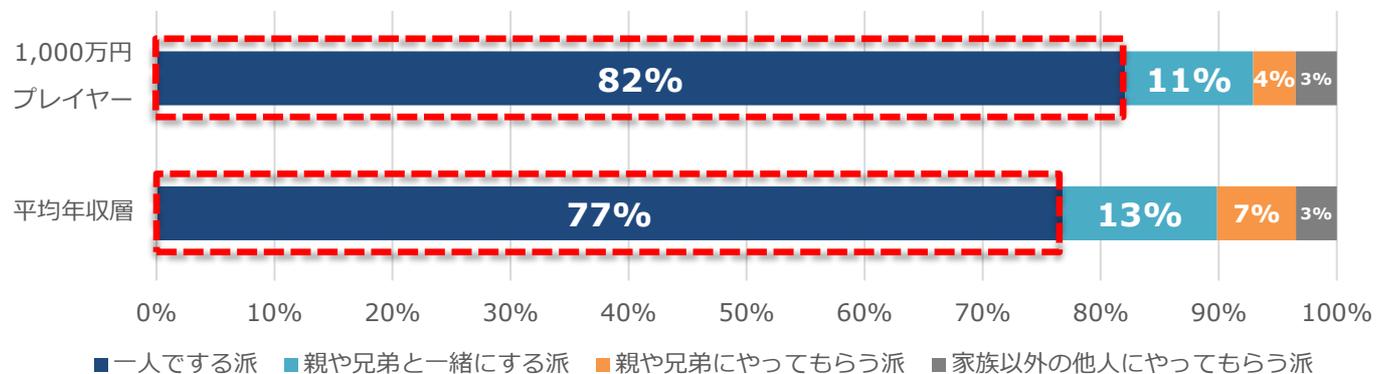
また、「夏休みの宿題をどのように取り組む派か」についても調査をした結果、両者とも「一人でやる派」に集中し、次いで「親や兄弟と一緒にする派」が多いという結果となり、明確な違いはありませんでした。

【グラフ③】小学生の頃の宿題はいつやる派でしたか

(全体N=759、1,000万円プレイヤーn=384、平均年収層n=375)



【グラフ④】小学生の頃の宿題はどのように取り組む派でしたか



<調査概要>

- ・ 調査期間：2019年2月
- ・ 対象：一都三県（東京都、千葉県、神奈川県、埼玉県）に住む会社勤めのビジネスパーソン男女（役員経営者、フリーランスは除く）計800名
 - ① 30代～50代で年収1,000万円台（1,000万円～1,100万円未満）400名
 - ② 20代～40代で年収400万円台（400万円～500万円未満）400名
- ・ 集計方法：分析においてはウエイトバック集計を行い、総務省「就業構造基本調査」2017年全国を性年代別、雇用形態別割合にあわせて補正したうえで分析することで、妥当性を担保しています。
- ・ 調査方法：インターネットによるアンケート回答方式

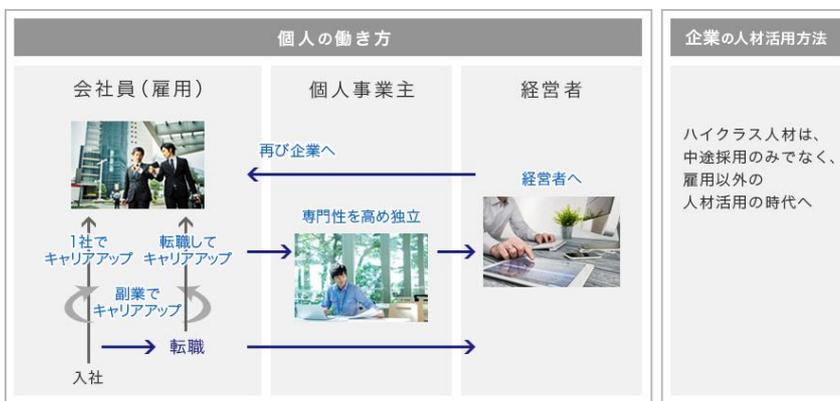
■ 「iX (アイエックス)」とはく <https://ix-portal.jp/> >

厚生労働省が2016年8月に発表した「働き方の未来2035」※1では、2035年には、労働市場の変化や技術革新により、企業はミッションや目的が明確なプロジェクトの塊となり、人が事業内容の変化に合わせて、柔軟に企業の内外を移動する働き方が増えることや、個人の多様な働き方が可能となり、自身の専門的な能力を活用して自律的、主体的に活動できる社会に変化することが予想されています。

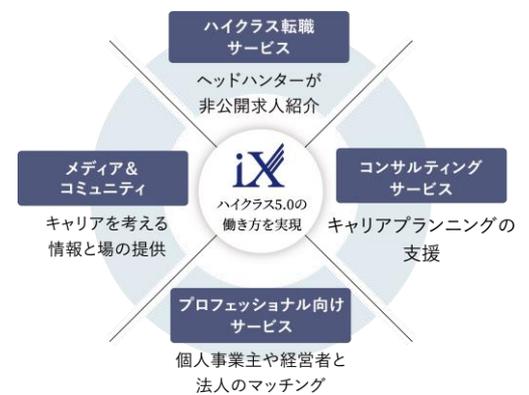
※1厚生労働省「働き方の未来2035」(2016年8月) <https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12600000-Seisakutoukatsukan/0000133449.pdf>

しかしながら現在の日本では、総合職としての新卒一括採用が主流となっており、学生、社会人を問わず、自身のキャリアについて主体的に考える機会が少ないうえに、情報や手段も入手しづらいため、キャリアを戦略的に描くことが難しい状況です。

「iX」は、このような社会課題の解決に向けて、**キャリアを戦略的に築くことを目指す人のパートナー**として、さまざまな「情報」と「選択肢」を提供するサービスです。一つの企業でキャリアを積むだけでなく、転職や副業(複業)、独立、起業などの選択肢が存在する「正解のないハイクラス5.0時代※2」において、**ハイクラス人材やハイクラスを目指す方が高い価値を発揮して通用し続けるための転職サービスをはじめ、4つのサービスを提供してまいります。**



「正解のないハイクラス 5.0 時代」イメージ



「iX」提供サービスイメージ

※2「正解のないハイクラス5.0時代」：①一つの企業でキャリアを積む②転職してキャリアを積む③グローバルでキャリアを積む④副業(複業)でキャリアを積む⑤独立・起業して活躍するなど、多様化が進むハイクラス人材の働き方を表現した造語です。さまざまな選択肢があるものの正解がなく、個々人のキャリア選択の意志・主体性をより求められる時代を示しています。

■ 「iX」が提供する4つのサービス

① ハイクラス転職サービス < <https://ix-tenshoku.jp/> >

ハイクラス人材に「**キャリアの選択肢**」を提案するヘッドハンターと出会うサービスを提供します。希少性の高い非公開求人を取り扱うヘッドハンターが、登録者の市場価値向上を考えながら転職活動を長期的にサポートします。

2019年3月5日(火)より、利用登録の受付を開始しました。

※以下は2019年夏頃よりサービス提供を予定しています。

② プロフェッショナル向けサービス

独立した個人事業主や経営者を支援するサービスです。

③ メディア&コミュニティ

今、そしてこの先も通用するキャリアを考えるための情報を提供するサービスです。

④ コンサルティングサービス

ハイクラス人材のキャリアプランニングを支援するサービスです。



ハイクラス転職サービス
サイトイメージ

■ iX統括編集長 清水 宏昭（しみず ひろあき）の想い

「iX」は、ハイクラス層やそれを目指す方が更に活躍できるように、ハイクラス転職サービスにとどまらず、「キャリア戦略のパートナー」として、「情報」や「選択肢」の提供を目指しています。転職や副業（複業）、独立、起業など、正解がなくさまざまなキャリアの選択肢がある現代において、前向きに自身のキャリア戦略を考え、主体的に選択することをサポートしたいと考えています。

日本では、ジョブローテーションを前提とした新卒一括採用が主流となっているため、自身のキャリアを戦略的に考える機会や、そもそもの考え方を学ぶ機会がほとんどありません。今とは別の環境の方が力を発揮できる方、一方で今の環境が一番向いている方、どんな環境にいらっしゃる方も正しい情報を知り、自信を持って働くことが出来るようになれば、社会の発展にも貢献できるのではないかと考えています。

私自身もキャリアに悩み、葛藤した時期がありました。悩みながらも新卒で入った会社で仕事を続け、結局転職した時には社会に出てから18年が経過していました。

私の他業界と人材業界での経験、転職の際に困った経験に加え、ハイクラス層のニーズを徹底的に調査した結果、大多数が同じことに困っていることが判明し、既存サービスでは対応できていないニーズが多いことがわかりました。「iX」はユーザーファーストをポリシーに、必要な機能やサービスを提供してまいります。「キャリアを戦略的に築くことを目指す人のパートナー」として、さまざまな方の働く未来をより一層充実させる一助となれば幸いです。

■ iX統括編集長 清水 宏昭（しみず ひろあき）プロフィール

1998年3月、立教大学社会学部観光学科卒業。新卒にて1998年4月、株式会社オリエンタルランド入社。東京ディズニーランドのスーパーバイザーを経て、マーケティング部門へ異動。東京ディズニーリゾートの事業戦略およびマーケティング戦略の責任者として、企画立案から実行までを統括。在任中に、東京ディズニーシー限定キャラクター「ダッフィー」のブランドマネージャーとして、関連売り上げを2倍に引き上げる。

2015年6月、株式会社インテリジェンス（現社名：パーソルキャリア株式会社）入社。転職サービス「DODA」（現転職サービス：「doda」）のブランド力向上や戦略課題の解決を目的としたリブランディング計画の立案・実行・推進と同時に、広報部の立ち上げにも従事。広報部長として戦略的PRに取り組む。

2018年1月より、新規事業開発責任者に就任。**ハイクラス人材のキャリア戦略プラットフォーム「iX（アイエックス）」 < <https://ix-portal.jp/> > を立ち上げる。**



■ パーソルキャリア株式会社について < <https://www.persol-career.co.jp/> >

パーソルキャリア株式会社は、パーソルグループの「リクルーティングセグメント」中核会社として、転職サービス「doda」やアルバイト求人情報サービス「an」をはじめとした人材紹介、求人広告、新卒採用支援等のサービスを提供しています。2017年7月より、株式会社インテリジェンスからパーソルキャリア株式会社へ社名変更。グループの総力をあげて、労働・雇用の課題の解決を目指します。

■ 「PERSOL（パーソル）」について < <https://www.persol-group.co.jp/> >

パーソルは、2016年7月に誕生した新たなブランドです。ブランド名の由来は、「人は仕事を通じて成長し（PERSON）、社会の課題を解決していく（SOLUTION）」。はたらく人の成長を支援し、輝く未来を目指したいという想いが込められています。

パーソルグループは、人材派遣サービス「テンプスタッフ」、転職サービス「doda」やアルバイト求人情報サービス「an」をはじめとし、ITアウトソーシング、設計開発にいたるまで、国内外の幅広い企業群で構成されています。グループのビジョンである「人と組織の成長創造インフラへ」を実現するために、労働・雇用の課題の解決に総合的に取り組んでいます。